

花 4月～5月

バラ科

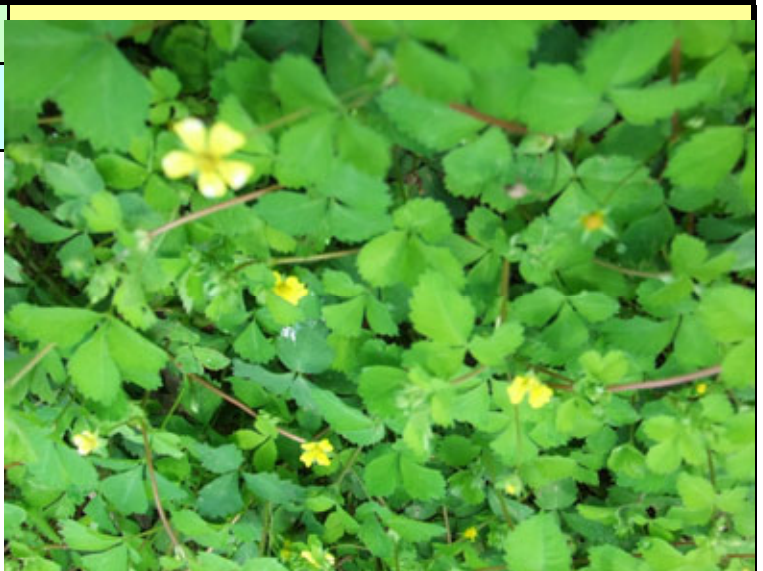
キジムシロ

葉は地面を覆うように伸び、春に黄色い花を咲かせる

北海道～九州の日当たりのよい山野や野原などに自生。草丈は5～30cmで、茎に長い毛が多く生え、葉は根生して地際に伸びる。

根生葉は羽状複葉で、5～7枚の小葉がつく。小葉は長さ5～30cmで楕円形をしている。

花は直径約1.5cmで黄色く、春になると1本の茎に10前後つく。花弁は6mm～1.2cmでがく片は卵状披針形をしている。



花 5月～7月

キク科

ニガナ

山道や農村の空き地などに生える。頭花は直径1.3cm前後で、1つの頭花に舌状花が5～7個しかないので、舌状花間にすき間が目立つ。茎生葉には柄がなく、基部で茎を抱く。



花 4月～10月

キク科

セイヨウタンポポ

明治期に渡来したヨーロッパ原産の帰化植物。カントウタンポポと異なり、この種は外片が反り返って垂れるのが特徴だ。タネは灰褐色で、同じくヨーロッパから帰化したアカミタンポポは赤褐色なので、タネで容易に見分けられる。

